

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	13-006	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
<p>A randomized controlled trial of a web-delivered brief alcohol intervention in Veterans Affairs primary care. 退役軍人のプライマリケアにおける、ウェブ配信の簡便なアルコールの介入に関するランダム化対照試験</p>		
執筆者		
Cucciare MA, Weingardt KR, Ghaus S, Boden MT, Frayne SM.		
掲載誌		
J Stud Alcohol Drugs. 2013 May;74(3):428-36.		
キーワード		PMID
ウェブ配信の簡単なアルコールの介入、ランダム化臨床試験、退役軍人		23490572
要 旨		
<p>目的： 本研究はウェブ配信の簡単なアルコールの介入（BAI）が、プライマリケアを受けている米軍退役軍人におけるアルコール乱用の低減に有効かどうかを検討した。</p> <p>方法： 通常のプライマリケア訪問時に、アルコール乱用のスクリーニングで陽性だった退役軍人（N = 167）を、BAI と通常治療(TAU)を受ける群と TAU のみ群の2つに無作為に割り付けた。アルコールに関連するアウトカムの評価は処置後、ベースラインと 3 ヶ月および 6 ヶ月に行われた。</p> <p>結果： 両方の群の退役軍人で 6 ヶ月のフォローアップで、アルコールの量、頻度とアルコール関連問題において有意な減少を示した。2つの治療群の間に、アウトカムに対する治療効果の違いは観察されなかった。</p> <p>結論： この研究は、規範的なフィードバックを利用したウェブ配信 BAI がおるコール乱用をおこなう退役軍人に有効かどうかを検討する最初のものである。今回の知見により、規範的なフィードバックを使用した BAI は、精神保健の問題をもつ率の高い老年退役軍人に対して、TAU を超えたベネフィットをもつものでないことを示唆している。</p>		